

「能登半島地震」対策ニュース

全国災対連 (災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会)

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連内 TEL03-5842-5611 FAX03-5842-5620

2024年2月1日

NO. 2

能登半島地震から1カ月

全国災対連 JR「御茶ノ水駅」でカンパ活動にとりくむ

大変深刻な被害をもたらした能登半島地震の発生から1カ月を迎えた2月1日、全労連と全国災対連は共催でJR「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口で、お昼休みカンパ行動にとりくみました。全労連・農民連・保団連から20人が参加し、1万円や5千円札を含む40,042円のカンパが集まりました。カンパを訴える横断幕やのぼり、被災地のパネル版も用意しました。今後、被災者支援として石川県など被災地へ届けていきます。



全労連から小畑雅子議長、石川敏明副議長、衛藤浩司・仲野智常任幹事、農民連の渡邊信嗣さん、保団連の里村兆美さんがそれぞれよびかけました。

全労連の小畑議長は、1月26日に石川県庁へ支援金を届けてきました。1月29日現在、亡くなった方は236人、いまだ14,563人の方々が避難所生活を強いられていることにふれ、「七尾市や珠洲市、志賀町など石川県内の断水は4000戸以上で断水が続いており、復旧は3月以降と言われています。被災地恵寿総合病院での懇談では、今は使命感で気持ちが張り詰めているが、これが切れてしまったら離職者も出るのではないかと、そのようななか政府が打ち出した、宿泊費を補助する『北陸支援割』や新幹線の全線開通アピールなど被災者置き去りの政策ではないか。能登半島地震の復興

を優先し、大阪・関西万博中止の声をあげよう。北陸電力・志賀原子力発電所では、深刻なトラブルが起きている。福島第一原発事故の教訓をいかし、危険な原発の即時停止・撤去をもとめよう。」と訴えました。

石川敏明副議長は「埼玉県のある市の市長は、被災自治体から『避難所運営をする職員を派遣してほしい』と依頼されたが、埼玉だけではなく、全国の自治体から避難所の運営や水の提供のための職員が現地に派遣されています。また、水洗トイレが使えない不衛生な状況のもと、インフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症が発生しています。こうした中で長期にわたる避難所生活を余儀なくされ、体調を崩される方も多く、いわゆる二次被害で命を落とされる方もいらっしゃいます。避難所では水や衛生用品なども不足しており、被災者へのあたたかい支援と被災地への全面的支援が求められています。

そのほか、政府の対応の遅れ、被災地復興の足かせとなる大阪・関西万博の中止、北陸電力・志賀原子力発電所の危険性なども訴えました。

農民連の渡邊信嗣さんは、「このままでは集落の崩壊でくらしがいけない、苦境を我慢してしまう被災者の声を聞いて、炊き出しや細かいニーズ応えていきたい。」保団連の里村兆美さんは医療現場から国に対する支援の要請を強く求めていくことを強調しました。

被災地は依然引き続き厳しい状況にあり支援が必要です。全労連と全国災対連は、国への要請なども行うことにしています。預かりした募金は、ただちに被災地に届け、支援に役立てていくことも訴えました。



全国災対連より呼びかけます！

被災者支援へ 支援募金に協力をお願いします！

- ゆうちよ銀行
- 口座番号 00160-4-174418
- 名義 災害被災者支援全国連絡会

※ 通信欄には、必ず「能登半島地震支援募金」と明記してください。